

湯本・遠野高校同窓会合同役員会（4月22日（金）） 校長挨拶

いわき湯本高校開校に当たって、湯本高校、遠野高校の同窓会の皆様には、さまざまなご支援・ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

去る4月11日（月）、いわき湯本高校開校式を挙行することができました。両校の同窓会長様にもご臨席を賜り、お陰様で、学校としてよいスタートを切ることができました。

生徒も、教職員も、いわき湯本高校という新しい学校づくりに奮闘努力しているところであります。

はじめよければすべてよし。
何事もはじめが肝心。

校長として、次のようなことをくり返し話しております。

「いわき湯本高校」という「新しい風」を吹かせること。

「空気の教育」を大切にすること。

「ありがとう」と言える・言ってもらえる生徒・教職員・学校となること。

「地域とともにある学校」となること。

「学校づくりは自分づくり」であること。

こうしたことを着実に進めていくためには、私たち教職員の日々の取り組みはもちろん、同窓会の皆様をはじめ、学校関係の皆様のご支援・ご協力が必要です。

本日の合同役員会では、いわき湯本高校同窓会の本格的な始動に向けた話し合いをすることとなっております。

本日の合同役員会を踏まえ、同窓会の皆様には、今後も、いわき湯本高校という新しい学校づくりに対するご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。